

平成30年度卒業論文の提出について（重要）

日本語・日本文化学類 カリキュラム委員会

2018年11月7日

1. 提出者： 卒業論文を執筆した本人が提出すること。
 2. 提出期間：12月20日（木）9:00－17:00（12:15－13:15を除く）
12月21日（金）9:00－12:00
時間厳守。
 3. 提出場所：生命環境エリア支援室学群教務・窓口（日日担当）
 4. 提出部数：2部（ただし、他学類の先生に副査をお願いしている学生は3部を提出）
 5. 論文の体裁：別紙【卒業論文の体裁】を参照。
⇒日本語・日本文化学類ホームページ
<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>
「学生向け情報 > 卒業論文」ページからダウンロード可能
提出論文は2部（あるいは3部）とも同じ体裁。
- ・ 「卒業論文題目決定報告書」の締め切りは**12月13日（木）正午**。
全員必ず学類長室に提出すること。
 - ・ 口頭試問は1月30日（水）に行う予定。また、卒論要旨は口頭試問の際に提出する。口頭試問のプログラムは冬休み明けに掲示するので、掲示に注意すること。

【卒業論文の体裁】

1. 用紙はA4版を用いること。
2. 表紙（表表紙、裏表紙、背表紙）を付けること。
3. 表表紙に題目・大学名・学類名・年度・学籍番号・氏名・主指導教員名・副指導教員名を、背表紙にも題目・学籍番号・氏名を記すこと（【製本例】参照）。
4. 題目は12月上旬の最終題目決定時に提出したものと同一であること。
副題の追加や変更、表記や記号なども含め一切の変更を加えてはならない。
5. 横書き・縦書きの選択は自由。ただし、横書きの場合はA4用紙を縦長に、縦書きの場合はA4用紙を横長に用いること（【製本例】参照）。
6. パソコン使用・手書きのいずれでも良い。パソコン使用の場合は電子媒体での提出は認めない（ただし添付資料はこの限りでない）。
手書きの場合は400字詰め原稿用紙を用いること（鉛筆書きは不可）。
7. 綴じ方は、製本（簡易製本を含む）・ファイル（2穴以上）・紐綴じのいずれでも良いが、要は堅牢に綴じること。
8. 題目等を貼り付ける場合には、剥がれないようにすること（テープやスティック糊は剥がれやすいので使用を避ける）。
9. 上記以外でどうすべきか迷った場合は、主指導教員の指示を受けること。

【製本例】

